

子育てつつしん

令和7年7月1日
認定こども園ひばり保育園
境木 晴苗

気温が上がり、夏らしくなってきました。当園ではプールや水遊びが始まり、子どもたちはウキウキしています。暑さに体が負けないよう、適度な休息や栄養を取りながら、楽しく過ごしたいですね。

〈子どもと自然〉

なぜ、子どもは自然に触れることが良いと言われるのでしょうか。子どもたちの身の回りにある自然と触れ合う中で、想像力や言葉や文字への関心、探求心、コミュニケーション能力、創造力、生命への畏敬など、たくさんのことを学びます。子どもは大人が気付かないような、小さな自然を見つける天才です。小さな自然を見つけた時の子どもの声を拾うことが大切です。

〈夏の自然遊び〉

『氷作り』

○作り方…色水をお皿やハートや星形のトレイに入れて、冷凍庫で凍らせます。

色水だけでなく、葉っぱや花びらを入れて凍らせると、とてもきれいです。

○学び…積んだ花を潰し、色水にして遊ぶことで「色」への関心を高めます。

匂いを嗅いだり、並べて数を数えたりと、たくさんの気付きや学びに繋げることができます。



『ユリの花粉絵』

○作り方…瓶にユリの花粉を数個入れ、少量の水でかき混ぜます。

○学び…ユリ花粉の色水で画用紙に絵を描くと、化学変化を起こして色が変化していきます。また、ユリの種類によって、色が異なるので数種類で比べてみると、さらに遊びが発展しそうです。※絵筆を使うと、花粉がとれなくなります。また、洋服につくと洗っても落ちないため注意してください。



〈関連する絵本〉



「ばばばあちゃんのアイス・パーティ/さとうわきこ」

ばばばあちゃんと一緒に、冷たい氷のお菓子を作って遊ぶ科学絵本です。みんなで氷のお菓子を作って、アイス・パーティをひらくお話で、うまく凍らなかったり、混ざらなかったりと色々な場面が出てきます。そのような、楽しい体験からたくさんのことを学んでいきます。氷作りをする時に、ぜひ読み聞かせてみてください。

「あおくんときいろちゃん/レオ・レオーニ」

不揃いの青色と黄色の丸が動き回ったり、感情をあらわにしたりします。赤色や黄土色など、数種類の色が登場し別の色同士が重なると色が変わります。この、あおくんやきいろちゃんには、目や脚がありません。しかし、物語の中で喜んだり、泣いたりします。それを見ているうちに、想像の中で感情と色がマッチングしていく、心に残る絵本です。



ひばり保育園では、毎週月曜日と水曜日に園開放を行っています。
子どもに関するご相談がありましたら、お気軽にご利用ください。